

日本共産党の竹田えつ子です こんにちははニュース 議会報告



No.155 2021年11月第1週



くらしのご相談事
いつでもお声かけ
ください。

公約実現に全力！ 衆議院選挙結果 捲土重来を期して頑張ります

鴻巣市の選挙結果(比例選挙)

	2021年	2017年
当日有権者数	99,851	100,615
日本共産党	4,217	4,196
自民党	18,916	16,623
立憲民主党	15,302	14,270
公明党	7,222	6,834
日本維新の会	4,670	1,533
れいわ新選組	1,940	
社民党	1,072	677
国民民主党	2,404	
NHKと裁判してる党	670	
希望の党		10,765
幸福実現党		255

総選挙で、支持して下さった有権者のみなさんに心からの感謝を申し上げます。
日本共産党は、今度の総選挙で、「野党共闘で政権交代を始めよう」と力いっぱい訴えてたかいました。自民・公明政権の継続を許したのは残念ですが、このたたかいは、最初のチャレンジとして大きな歴史的意義があったと確信するものです。この選挙での野党共闘は、共通政策、政権協力の合意という大義を掲げてたたかったものであり、一定の効果をあげたことは間違いありません。それは、全国62の選挙区で、野党で一本化をはかった候補が激戦に競り勝ち、何人も自民党の重鎮、有力候補を落選させたことにも示されました。同時に野党共闘は、今後の課題も残しました。

得票数は、440万票から416万票へ、得票率は7・90%から7・25%への後退となりました。次の機会です。捲土重来を期して頑張ります。引き続きあなたかのご支援をよろしくお願い致します。

たとくに、野党が力をあわせて、共通政策、政権協力の合意という共闘の大義、共闘によって生まれうる新しい政治の魅力をも、さまざまな攻撃を打ち破つて広い国民に伝えざるを得ず、共闘の大義・魅力を伝えきれなかったことが、自公の補完勢力「日本維新の会」の伸長という事態を招いた一因にもなりました。国民の声を聞かない自公政治がいつまでも続いているわけがありません。いまの選挙制度のもとでは、日本の政治を変える道は共闘しかありません。日本共産党は、共闘の道を揺るがず発展させるために引き続き力をつくします。

比例代表選挙で、前回獲得した11議席から9議席に後退したことは、大変残念な結果です。

新型コロナ対策

11月15日以降の接種体制について

10月22日に開放した枠が定員に達したため、次のとおり追加で枠を開放します。

■接種日時

11月19日(金)～12月4日(土)の金曜日及び土曜日の13時～13時30分

※原則3週間後の同じ曜日・時間に2回目接種

※予約状況により、12月5日以降も順次開放します。

■接種医療機関

ヘリオス会病院(鴻巣市広田824-1)

11月1日現在の鴻巣市の新型コロナワクチン接種状況(12歳以上)

対象者	108,929人	
1回目接種	88,043人	80.8%
2回目接種	74,331人	68.2%



■予約枠数

金曜日=18枠 → 54枠、土曜日=30枠 → 60枠

■予約方法

予約センター(0120-110-795)に電話、又はインターネット予約

皆様のご意見・ご要望をお寄せください。要求実現のため一緒に力を合わせていきましょう！
〒365-0031 鴻巣市ひばり野1-30-18 ☎048-542-7072 FAX048-542-7101 携帯090-2553-5215
ホームページ 公式ウェブサイト <http://www.takeda-etsuko.com>



新型コロナ対策市内事業者支援

緊急事態宣言は解除されましたが、事業者の皆さんは、まだまだご苦労されています。
9月議会の最終日（9月24日）に市内事業者への新型コロナ対策予算が可決しました。
（詳細については鴻巣市役所 ☎541-1321 商工観光課へ）

●路線バスとタクシー事業者への運行継続支援金

路線バス事業者（3社）固定額50万円+1方面当たり30万円

タクシー事業者（5社）固定額50万円+運行車両1台当たり3万円

●事業継続支援金

観光バス事業者（3社）固定額30万円+バスの大きさによって1台当たり8万円から
15万円加算

県の酒類販売事業者等協力支援金・外出自粛等関連事業者協力支援金の交付を受けている
事業者・セーフティネット保証4号の認定事業者に10万円

●家賃等支援給付金

県の家賃支援金の交付を受けている事業者に10万円

自民・維新 改憲発言相次ぐ

草の根から総反撃を

総選挙の結果、自民党261議席・公明党32議席に加え、維新の41議席で改憲勢力は衆議院で334議席となり、改憲発議に必要な310議席を上回りました。

岸田文雄首相は、さっそく1日の記者会見で「党是である憲法改正を積極的に進めたい」と発言しています。

2日には日本維新の会の松井一郎代表が、来年の参院選の投票と同日で改憲の国民投票を実施すべきだと発言しました。

同盟強化を強調

米中対立が激化し、安保法制のもとで台湾海峡有事への自衛隊の参戦も視野に日米同盟強化が強調されています。安保法制を正当化するための改憲への動きが急になる危険性が強まっています。総選挙公約には、高市氏の肝いりで「早期の憲法改正」を明記。安倍政権下でつくられた「改憲4項目」（9条への自衛隊明記、緊急事態条項創設、合区解消、教育充実）の推進もうたいました。公約には改憲に加え、敵基地攻撃能力の保持、国家安全保障戦略の改定や軍事費倍増など同盟強化、軍拡方針が明記されています。

憲法生かした平和外交こそ求められています

日米同盟最優先で憲法も平和も踏みにじって顧みない勢力に、憲法を論じる資格はありません。数を頼みに改憲を強行する動きに、新たな草の根からの総反撃が求められます。